

関東学生チームカップ・事業実施細則・変更案

● チームカップ関連の提案について

○ 予選リーグ方式の中止。

現在は、「予選リーグ & 決勝トーナメント方式」 → これを「トーナメント方式」のみとする。
現行でも、予選リーグの1位しか決勝トーナメントに進出させない形式なので、ほとんどの場合は「1敗したら終わり」。

「勝ち上がる」、「上位を目指す」という立場からは、どちらでも同じ。

「1試合で終わらない。最低でも2試合出来る」という立場では、影響が大きい。

4人目、5人目のエントリー選手には、試合機会がない者が必ず出てくる。

従来は、棄権防止のため「4～5人」でのエントリーを推奨していたが、今後は去年から採用した「欠場者を2点ハンデにすることによる2人でも試合成立」のシステムを生かして、3人(+α)のエントリーも同時に推奨する。

予選リーグを中止することによって、約20%の試合数を減らすことが可能。
日程的には、半日程度。

(参考) サッカーのナビスコカップも、今年は予選リーグを中止し、単純トーナメント方式。

○ Aブロック以外は、優勝チームまでを決定しないようにする。

現在は、A・B・C・Dの各ブロックで優勝チームまでを決定している。

決勝トーナメントの8決定戦以降は、次第に台が空いてくる形となる。

Aブロック以外の下位ブロックは、優勝チームまでを決定せず、上位ブロックへの勝ち上がりチームを決定するところまでとすれば、台の空きなどはなく、会場の有効活用となる。

減る試合数は数試合だが、日程的には半日程度短縮される。

実質、下位ブロックは上位ブロックに進出するための予選という形となる。

7～8チームのヤマから1チームが通過する形を基本形としたい。

○ ブロック分けの変更

現在、1・2部を、全日学・全日学選抜の出場状況によって分けている。

(出場者が1名でもいればAブロック、いなければBブロック)

実力の均衡を狙ったもの。

しかし、実際には「出場して来ない全日学プレイヤーを名前だけエントリーしてAブロックに参戦する実質Bブロックチーム」も散見される。

去年より、参加料をA・Bで差別化(6千円と4千円)したが、状況に大きな変化はなかった。

現在は、全日学の出場状況を見るために、8月中旬の全日学予選後にしか申し込みできない
→大会は9月中旬以降、となっている。

秋リーグ以降となるので、4年生のエントリーも少なくなる。

全日学出場状況の区分けを外せば、3部以下同様に開催時期の選択肢が広がる。

電力問題解決後は、夏休み期間中に一斉に行ないたい。

現行のA・Bブロックは統合し、1・2部校はAブロックとする。

その中でも強豪チームはスーパーシードとし、無駄な待ち時間を減らすように組み合わせる。

3・4部校は、CブロックからBブロックへ、5部以下校はDブロックからCブロックへ、名称変更。

A・B・Cの3ブロック制とする。

○ 以上3点の変更をして、条文を次のように変更したい。本年度より、即適用する。

第9条 関東学生卓球チームカップ（主催 関東学生卓球連盟）

現行条文

2. 試合方法

（前略）

予選リーグ・決勝トーナメント方式を基本とする。
参加数、及び会場の事情等に応じ、詳細は柔軟に対応するが、出場チームが複数試合を出来るよう、最大限の配慮を行なう。

（後略）



変更案

2. 試合方法

（前略）

トーナメント方式とする。

（後略）

現行条文

4. ブロック分け

（以下の部（1～6部）は、当該年度秋季関東学生リーグ戦の編成による。
入替戦の結果は考慮しない。）

Aブロック 男女とも1・2部で、メンバーに当該年度全日学出場者（単複いずれか1種目でも出場した者）、または当該年度全日学選抜出場者を1名でも含むチーム。

Bブロック 男女とも1・2部で、メンバーに当該年度全日学出場者（単複いずれか1種目でも出場した者）、または当該年度全日学選抜出場者を1名も含まないチーム。

Cブロック 男女とも3・4部のチーム。

Dブロック 男女とも5部以下のチーム（5部・6部・編成外）

大会は、D→C→B→Aの順に行なう。

下位ブロックで上位に進出したチームは、上位ブロックに参戦する権利を得る。その際、追加の参加料は必要としない。

上位参戦チーム数は、各ブロックにおける純参加チーム数（下位ブロックからの勝ち上がりを含まない参加チーム数）に応じて、次の通りとする。

49チーム以下の場合 … 4チーム

50～59チームの場合 … 5チーム

60～69チームの場合 … 6チーム

：

100～109チームの場合 … 10チーム

：

（以下、同様に、「参加10チームあたり、1チーム増」）。

なお、上位参戦チームの決定にあたっては、次の通り「見なしランク」を設定し、参戦の意思があるチーム中より、この順に確定させる。

1位 … 優勝チーム

2位 … 準優勝チーム

3位 … 準決勝で優勝チームに敗れたチーム

4位 … 準決勝で準優勝チームに敗れたチーム

5位 … ベスト4決定戦で優勝チームに敗れたチーム

6位 … ベスト4決定戦で準優勝チームに敗れたチーム

7位 … ベスト4決定戦で3位チームに敗れたチーム

8位 … ベスト4決定戦で4位チームに敗れたチーム

9位 … ベスト8決定戦で優勝チームに敗れたチーム

：

（以下、同様）

各ブロックにおける男女別の参加チーム数が4に満たない場合は、そのブロックの開催を男女別に中止し、上位ブロックへの自動参戦とする。



変更案

4. ブロック分け

(以下の部（1～6部）は、当該年度秋季関東学生リーグ戦の編成による。
入替戦の結果は考慮しない。)

Aブロック 男女とも1・2部のチーム。

Bブロック 男女とも3・4部のチーム。

Cブロック 男女とも5部以下のチーム（5部・6部・編成外）

大会は、C→B→Aの順に行なう。

下位ブロックで上位に進出したチームは、上位ブロックに参戦する権利を得る。その際、追加の参加料は必要としない。

上位参戦チーム数は、各ブロックにおける参加チーム数に応じて変動するが、概ね「参加7～8チームあたり、1チーム上位参戦」する。

下位ブロックの試合は、上位参戦チームを決定する段階までとし、最終的な優勝チーム決定までは行なわない。

なお、上位参戦チームの決定にあたっては、次の通り「見なしランク」を設定し、参戦の意思があるチーム中より、この順に確定させる。

1位 … そのトーナメントの優勝チーム

2位 … そのトーナメントの準優勝チーム

3位 … 準決勝で1位チームに敗れたチーム

4位 … 準決勝で2位チームに敗れたチーム

5位 … ベスト4決定戦で1位チームに敗れたチーム

6位 … ベスト4決定戦で2位チームに敗れたチーム

7位 … ベスト4決定戦で3位チームに敗れたチーム

8位 … ベスト4決定戦で4位チームに敗れたチーム

：

(以下、同様)

各ブロックにおける男女別の参加チーム数が8に満たない場合は、そのブロックの開催を男女別に中止し、上位ブロックへの自動参戦とする。